

宮城県農業高等学校

～ 被災校舎の内陸部への移転事業 ～

【宮城県土木部営繕課】

学習形態や地域との関わりを十分に考慮し、伝統ある宮城県農業高等学校にふさわしい「自然と調和した教育環境の創造」をコンセプトに、3つの基本理念のもと整備を行った。

基本理念

- 生徒の安全性と地域の景観に配慮した平面計画
- 自然と共存する技術や自然エネルギーを最大限利用した循環型の環境計画
- 田園風景と背後の山並みに調和し際立たせる景観・外観計画

計画上配慮した点

- ・採光と通風に配慮した明るい学習環境とした。
- ・環境配慮の一環として普通教室にライトシェルフを採用した。
- ・接地性の高い低層の校舎とし、授業間の移動が多い農業高校の特性に配慮した。
- ・軒の深い緩勾配屋根を基調とし、半屋外の実習スペースを提供した。



[動線を配慮し低層とした校舎棟]

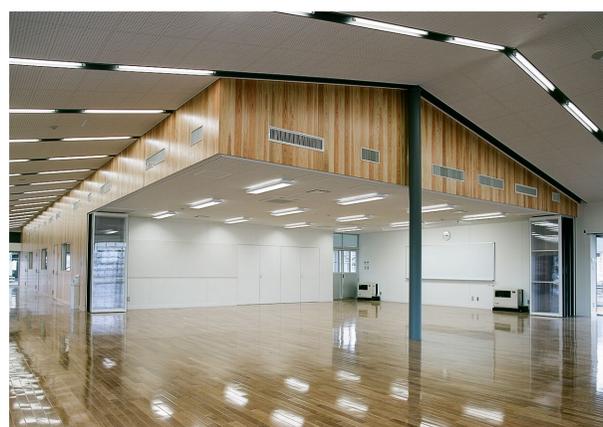
構造：RC造 地上2階
延べ面積：24,421㎡
完成年度：平成30年度



[憩いの場となるセンタープラザ]



[自然光を取り入れた大講義室]



[農場最先端技術
学習センター内観]



[半屋外スペースを設けた
6次産業化ゾーン]